

明日に存してほしい

人の出まいに 一印象といろが身白

その時 何を感 ~~じ~~ じとるのか

何を印象してキヤフクするのか 不思議だ

一印象はたすに ぶもいふがいか する木

ほといと きたたい木身い

河の理由を存いのた どうも電にかてだ

次の出まいの時 どのううに 堪い くらすい

あか

見がすそてしすう

とにかく 快的存身で存い

このふうにこて 系うのそうて いらのち

あとおれくうい \* び系うのわと 何回も

婿みを見ている

いふ知る 音ボアわなりと すあせ らへル

で存さそう

いらん存へルバーがいらん

何かがあるそりといろ事と存い

エがく目 ~~線~~ 線がりやといろで存い

あれこれ 出系身い けるん

何とかに写している

そこに立っていろ存在おいやろのだ

何を思っているのかのしくと重くらしい

余りをいやだ存と思う人も今とは

やりすこして来た

今回も 出来たよりの二と今のが

気が重いの

早く今日という日 立ち去って帰しい

明日に存ると ちがうのが吹いて来

そと風で存らてもいい

かじい雨でまいい

あしたをまろてい

2022  
6/28